

携帯電話を活用した授業実践

～学習の中で有効利用する試み～

兵庫県立御影高等学校教諭
(現 関西大学高等部教諭)
赤松 正人

1. 初めに

私は、前任校の兵庫県立御影高等学校で教科情報の授業が始まる1年前から、試行的に情報の授業を実践してきた。実施当初は、生徒のコンピュータの使用率も低く、家庭でのPC普及率も低かったので、生徒は授業で初めて知ることが多かった。そのうち、急激なインターネット環境の進展から、生徒を取り巻く環境も急激に変化してきた。その代表的なものが携帯電話である。また、家庭の環境も変化し、ブロードバンド化も進んだ。兵庫県の高校は早くからブロードバンド化し、その環境は家庭を大きく上回っていた。しかし、急速に家庭にも光ファイバーが普及し、PCも高性能化したため、授業での内容は毎年変化させていくとともに、生徒が苦手とする分野(考える力)を中心に授業するようになった。大学や社会ではノートPCを使いこなすことは必須の教養となっているが、数年前から高校生においてはPCよりも携帯電話の使用が急速に発展している。所持する年齢も低年齢化している。学校により対応は様々で、携帯電話の持ち込みを認めている学校もあれば禁止している学校もある。しかしながら高校に入学して携帯電話を持つ生徒は多くなり、ほとんどの生徒は高校入学後1年以内に持つようになっている。場合によっては、料金の関係から、電話として使う携帯電話、ブログやインターネット、メールとして使う携帯電話、というように2個以上持つ生徒も何名が存在する。ここで、高校現場における携帯電話の対策はこの多様さに対応できずにいる現状である。社会的には携帯電話の危険さがクローズアップされ、良くないイメージばかりが前面に出ている。しかし、使い方によってはプラス面が多く、活用度も高まっている。場合によっては、学校での連絡事項のペーパーレス化や学習面に活用されつつある。御影高校では携帯電話の持ち込みは許している。

マナー面ではいろいろ規定はあるが、使用の仕方でも注意を受けるケースも多い。そこで、その改善策として情報の授業に少しでも活用できないかと考え、情報の講師の先生の発案も取り入れながら携帯電話の活用を授業の中に取り入れた実践例を示したいと思う。ちなみに現在勤務の学校は、情報機器も充実しており、環境面も整っているため、携帯電話については持ち込み禁止である。

2. 携帯電話は何に使われているか

多くの高校生は、メールやブログ、写真撮影、音楽を聴くなどに携帯電話を活用することが多く、あまり電話としては使っていない。考査の時間割やテスト範囲のプリントを写真撮影して持ち帰ったりもしている。



図1 スライドの例(「携帯電話について」というプレゼンのために1年生が作成したもの。)

3. 携帯電話の学校での役割

学校ではどのような形で活用しているか。教員から生徒への緊急な連絡に活用したり、生徒が大学受験結果を学校にメールや電話で連絡したりするなど、主に連絡をする機能を使っている。生徒への指導の迅速さという点で便利に活用されている。

4. 携帯電話についての授業

情報の授業では次のように活用している。

① 1年生

プレゼンテーションのテーマとして「携帯電話について」を取り入れ、資料を作らせて2分から3分の発表実習を行っている。この内容からその後モラル面の学習につなげている。

例えば、図1のようなスライドを作成し、発表している。これは、調べ1時間(50分)、作成1時間(50分)で作成している。

② 2年生

授業ではWEBページ作成を中心にメモ帳でタグを利用して作成している。WEBページの基本からペイントソフトでのロゴマーク作成、写真編集、そ

表1 課題の指示の例

情報A 夏休み特別企画

Webサイトの写真素材を撮影!!

2年生のみんなへ

2学期、情報の授業ではWebサイト作成を行います。そこで!!そのために必要となる写真素材を夏休み中に携帯電話のカメラ機能を使い、撮影して下記のアドレスまで添付して送信してください。条件は以下の通りです。

☆撮影サイズ 壁紙サイズ(320×240)

☆画質 ノーマルかエコノミー(設定出来る人だけ)

☆モラルを守ること。

(人物を撮影する時は許可を得るなど。)

☆送信先メールアドレス s6302△△@gmail.com

(※△△の所は自分のクラスを入力)

☆件名には必ずクラス・番号・苗字を入力すること。

(授業の時と同様、入力が無い場合は、削除します。)

☆1人様10枚までとさせていただきます。厳選して送ってね。

☆提出締め切り9月1日8時30分時間厳守!!

それでは、楽しい夏休みを。2学期にまた会いましょう♪

<追伸> 携帯電話が無い人は事前に連絡すること。

の応用などをして、最後にクラス全員のWEBページを閲覧し、相互評価を行っている。この活動の中で携帯電話のカメラ機能を利用している。

また、夏休みの課題として2学期の始業式までに指定したアドレスに写真を送ることにしている。件名や名前のないメールは受け取らないことも注意する。

5. 携帯電話の学習への利用

学校の中で携帯電話を活用する上では、次のことに注意している。(授業内で写真撮影する実践の場合)

- ① 授業で使うことを職員会議で全職員に伝える。
- ② 撮影できる場所を示す。例えば授業中の教室や廊下ではない。道路に出ない。など
- ③ 授業中は授業で活用中であることを示すカードを首から下げさせる。
- ④ WEBページに載せるためのものであることを確認し、撮影の内容を注意する。

次に授業の手順は

- ① 解像度を変更
- ② 写真を添付してメールで送ることを確認
- ③ メールでは必ず氏名を入力した件名で送る

である。

ほとんどの生徒がきちんと目標を達成できる。

生徒の中にはメールで送った後の自分のメールアドレスはどうなるか気になる生徒もいる。その点ではモラル教育の成果としての危機意識がある。

6. 今後の携帯電話への対応

携帯電話は、学校の中では現在マイナスイメージが多い。定期テストで電源を切るという指導やマナー学習の必要があるが、その指導に苦慮しているところである。しかしながら、生徒に対する連絡や個別指導時には役立つ。また、登校、帰宅のときのトラブル発生時に効果を発揮する。

小学校での携帯電話の必要性和高校での必要性和は違う。将来、高校卒業後に不可欠な携帯電話を指導する面でも、日々の学習の中で活用する場面を増やすことを考えなければならない。

今後もう少し学力に結び付けるための携帯電話の使用も必要であろう。そのためには生徒に興味関心を持たせることが必要である。ここに新たな教材の研究が必要と考える。実践の中からいろいろなヒントを得る活動が大切である。